

千本小学校PTA

PTA活動事例発表

大阪市立千本小学校
PTA会長 内田 新之介

- はじめに

新型コロナウィルス感染症に罹患されたPTA会員やご家族の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、医療従事者をはじめ、社会を支えるために頑張っている全ての方々に敬意と感謝を申し上げます。

新型コロナウィルスの感染拡大というこれまで経験したことがない状況が長く続いており、各会員の皆様におかれましては、種々ご苦労され、また様々なお取組みをされていることと思います。

そのような中で千本小学校PTAでは会員の皆様や、教職員の方々と協力し合いながら、子ども達の学校生活向上の為に様々な活動を行って参りました。しかし、時代の移り変わりとともに、見直しをしていくことが必要ではないかと考え、ここ数年、改善を重ねて参りました。今回は千本小学校PTAが行った改善について発表させて頂きます。

1、抽選による委員選出制の廃止

千本小学校PTAでは、

・総務・学級委員会	ベルマーク集計・制服提供会 等
・人権啓発・地域委員会	生根神社祭巡回、校庭芝生管理 等
・広報委員会	広報誌作成 等
・成人教育委員会	社会見学 等
・体育・保健・給食委員会	ラジオ体操、給食試食会 等

の5つの委員会があり、委員会ごとにPTAとしての活動を行っています。毎年各学年、各クラスごとに5つの委員会の委員を1名ずつ抽選で選び、1年間、委員会のメンバーとしてPTA活動に参加をしていただいておりました。

しかし、抽選という方法で委員を選んでいることから、「仕事や育児などでPTA活動を行う時間がとれない」や、「他の人は何もしないのに何故自分だけPTA活動に参加しないとけないのか」などの意見が毎年役員に上がってきました。

そのような状況で毎年度初めに行う各委員会の委員長選出や、活動ごとの担当決めは当然のように毎年難航。役員にとっても、委員にとっても非常に辛い場となっていました。

【問題点】

時代が移り変わり、共働き世帯が非常に増えてきている世の中で、このままの形を継続することの限界を感じていました。

もっと気軽に負担なく P T A 活動に参加出来る環境をつくらないと今後、 P T A 活動自体を行うのが困難になってしまいます。

【改善策】

令和 3 年度より、委員を抽選で選ぶことを止め、全 P T A 会員がどれかの委員になって頂き、 1 年に 1 度だけ P T A 活動に参加して頂く形に変更しました。

前年度のうちに全 P T A 会員に、新年度の年間 P T A 活動一覧表と、申込書を作成し、 1 年間に 1 度だけ、興味のある活動や、無理なく参加出来る活動に申し込んで頂き、年間の P T A 活動の担当者を決定します。新年度が始まると、各会員に P T A 活動に参加をして頂きます。

【今後の課題】

今年度からの新しい取り組みであり、役員も試行錯誤しながらではあります、全会員に P T A 活動に参加して頂くことで、 P T A が何をしているのかを知ってもらう機会にもなったと感じています。

しかしながら、全会員に参加してもらうこととなったことで、その段取りを行う役員の作業負担が増えてしまいました。

今後は役員の負担を減らせるように更なる改善を行っていく予定です。

2、PTA主催での『千本カーニバル』開催

この二年弱の間、新型コロナウィルスの影響により、数ヶ月の学校休校がありました。また、学校再開後もイベントの中止や、規模縮小を余儀なくされました。それ以外にも生活様式の大きな変化など、子ども達の学校生活にも大きな負担となっています。

そういった中、PTAとして子ども達に心から楽しめるイベントを一つでもやってあげたい、という思いから、令和3年度より初めてのPTA主催イベント『千本カーニバル』を開催しました。

千本カーニバルについては実施内容について担当委員が春から何度も打ち合わせを重ね、12月に開催することが出来ました。

千本カーニバルは令和3年12月12日に開催。

前日には委員の皆さんと役員が学校内の飾りつけを行い、当日は多数の保護者の方にボランティアで参加して頂き、「コインおとし」や「音当てゲーム」など4つの模擬店を開き、子ども達に遊んでもらいました。それはさながら大人達の学園祭のようでした。最後は全員参加のbingoゲームを行い、子ども達はもちろんのこと大人たちも一緒に盛り上りました。

今年度初めての取り組みとして行った「千本カーニバル」ですが、子ども達からは「すごく楽しかった！」と大好評でした。また会員に行ったアンケートでも好意的な意見が多数でした。

しかし、カーニバルに参加した200名ほどの子ども達のうち、ケガをした子が数名発生したことなど反省をしないといけない部分もございました。今年度の振り返りを行ないながら、来年度も子ども達が楽しめるイベントを開催できるように検討を重ねて参ります。

・最後に

コロナウィルスの問題や、時代の移り変わりにより P T A の在り方について見直しをしないといけない時を迎えていました。会員の減少や、人間関係の変化、コンプライアンスの尊重など、たくさんの問題について改善が必要となってきております。そのような状況の中で、P T A 役員として、会員の皆様や、教職員の方々、地域の方々との協力関係をより一層深めながら、時代に即した改善を重ね、今私たちの手元にあるバトンを次の世代に責任をもってバトンタッチをしていこう、というのが役員内での共通認識となっています。P T A をより発展させていくことが、きっと子ども達の笑顔に繋がっている、と信じて進んで参ります。

令和 4 年 1 月 30 日

大阪市立千本小学校

P T A 会長 内田 新之介